

ホストファミリー登録制度実施要項

【長期ホームステイ】

1. 受入れ留学生

受け入れていただくのは、海外の本学協定校（主にアメリカ、カナダなど）を通して来日する交換留学生です。文化的背景、日本語学習歴（学習歴なしを含む）、専攻分野などは様々です。留学期間は1学期間（約13週間）で、4月（前期）と9月（後期）に来学します。

学生達の主たる来日目的は、日本語学習を通して日本の文化・社会を体験することです。ほとんどの学生の日本語力は初級レベルです。来日時は日本語で簡単なあいさつができる程度の学生が大半ですが、中には中級レベルの学生もいます。

2. 受入れ期間及び時期 到着直後のオリエンテーション期間を除く全留学期間

前期（春学期）：4月上旬～7月中旬（約13週間）

後期（秋学期）：9月中旬～12月中旬（約13週間）

3. 受入れの基本方針

最も基本的な原則は、留学生を客人としてではなく、家族の一員として迎え入れていただくことです。過剰に留学生に合わせた生活をする必要はございませんので、普段のご家庭での暮らしに、留学生がいるという感覚でお受け入れください。

また、生活の場を提供していただくことになるので、一緒に生活するご家族全員の同意と共通理解が必要です。

【要件】

- 札幌市内及び近郊（本学まで公共交通機関で1時間以内の範囲）に家族単位（単身不可）で生活していること。
 - 留学生に一人部屋を提供できること。住居は一戸建でもマンションでも構いません。
 - インターネット環境（wi-fi）が整っていること。
 - 留学生の宗教、ジェンダーに理解があること
- ※英語等の語学力は必要ありません。

【部屋】

和室、洋室のどちらでも結構です。部屋には、寝具（ベッド、蒲団どちらでも可）と勉強機の用意をお願いいたします。

【食事】

平日朝・夕2食、休日朝・昼・夕3食のご用意をお願いいたします。

【言葉】

英語が通じなくてもかまいません。どうしても意志疎通ができない場合には、大学側で然るべきお手伝いをいたします。日本語学習歴のある留学生は日本語力の向上を目的の一つとして本学に留学するため、簡単な日本語やボディ・ランゲージでの意思疎通が助けとなりますが、日本語力がゼロに近い留学生の場合、ホームステイ初期の段階では、多少英語の使用があるほうが円滑にコミュニケーションを取ることができます。スマートフォンのアプリなどを用いて対応している方が多いようです。

しかし、多くの留学生は日本語を日本で実際に使いたいという思いで来日しています。英語でのコミュニケーションが取れるご家庭であっても、留学生の日本語習得にご協力ください。

【生活】

留学生のために生活を大きく変えることなく、『いつもの我が家のペースで』現在のご家族の生活をそのまま続けてください。留学生にあわせようとする必要はありません。無理をして生活すると、ご家族の負担になってしまいます。食事についても、留学生中心の食事に変える必要はありません。

食事、ゴミ、シャワー、その他日常生活のことに関しては、明確に『我が家でのルール』として説明してくださると、留学生も混乱せず、お互いにとってトラブルが避けられます。

また、留学生は大学生であり、親元を離れ、自分の責任で行動することが許される年齢です。クラブ活動や友人と過ごす時間が増え、帰宅の時間が遅くなることもありますので、ご理解ください。

4. 費用補助

本学のホームステイは、国際交流プログラムの一環として国際親善と相互理解のために、ホストファミリー様のご好意により受け入れていただいておりますが、ご家庭での負担を軽減するため、留学生が負担する食住費として、前期：平日2,000円/日、土日祝日2,500円/日、後期：平日2,300円/日、土日祝日2,500円/日を設定しています。この食住費は、4月、9月は当月の受入開始前まで、以降は翌月分を毎月末に本学を通して各ご家庭ご指定の銀行口座に振込みます。

何らかの事情によりホームステイの継続が困難になった場合は、ホームステイは中止となります。この場合、すでに振り込まれたホームステイ費用のうち、残り日数分の返金をお願いいたしますことをご了承ください。

5. 申込み方法

別紙『ホストファミリー登録申込書』に必要事項をご記入の上、下記まで郵送、FAX、Eメール添付にてお送りください。登録の申込みは随時お受けしております。

6. 受入れ留学生のマッチング

登録されますと、留学生の来日2～3ヶ月ほど前に大学から案内を差し上げ、受入れのご都合・ご希望をお聞きします。登録申込み用紙に記載されている事項と留学生の個人資料を照らし合わせ、共通点（喫煙などの生活習慣、家族構成、趣味など）や両者の希望（学生の性別、ペットの有無、通学距離等々）を考慮して大学がマッチングをします。そのため、受け入れていただく留学生の決定は大学側に一任されることをご理解ねがいます。

受入れ可能とお申し出いただいたにもかかわらず、留学生の人数等の理由でマッチングとならない場合があります。どうぞご了承ください。次の学期にまたご案内をさせていただきます。

7. 事前説明

・お申込み時

お申込みをいただいたら、本学国際教育課留学生担当職員がご家庭へ訪問し、詳細の説明をさせていただきます。また、留学生に実際にご提供くださるお部屋を拝見させていただくことをご了承ください。

・お受入が決まったら

留学生を受け入れていただくご家族には、実際にホームステイが始まる日に留学生を大学まで迎えに来ていただきます。また、その時に説明会を行います。通常、土曜日のお昼過ぎにお越しいただき、説明会は約1時間程度です。説明会では大学が作成した「ホストファミリーハンドブック」や関係資料をお渡しし、プログラム全体の説明と大学からの情報提供を行います。この説明会は、ホストファミリー同士の顔合わせの場でもあります。

【ショートホームステイ】

1. 受入れ留学生

受け入れていただくのは、普段は学生寮で生活する、主にアジア・ヨーロッパからの交換留学生を受け入れていただきます。中国、台湾、韓国、インドネシア、イギリス、アイルランド、スイス、スペインが対象国です。海外の本学協定校（主にアメリカ、カナダなど）を通して来日する交換留学生です。文化的背景、日本語学習歴（学習歴なしを含む）、専攻分野などは様々です。留学期間は1学期間（約13週間）で、4月（前期）と9月（後期）に来学します。

学生達の主たる来日目的は、日本語学習を通して日本の文化・社会を体験することです。ほとんどの学生の日本語力は初級レベルです。来日時は日本語で簡単なあいさつができる程度の学生が大半ですが、中には中級レベルの学生もいます。

2. 受入れ期間及び時期 到着直後のオリエンテーション期間を除く全留学期間 学期中の週末1～2泊（留学生と日程を連絡し合って決めていただけます）

前期（春学期）：5月下旬～7月下旬

後期（秋学期）：10月下旬～12月下旬

3. 受入れの基本方針

学期中の週末に1泊または2泊のホームステイ体験をボランティアでお願いしています。ご家庭での生活を通して留学生の日本語習得や異文化理解の学びを手助けしてください。大学もしくは最寄り駅までの送迎をお願いできましたら幸いです。

【要件】

- ・札幌市内及び近郊に家族単位（単身不可）で生活していること。
- ・留学生に寝室として個室を提供できること（留学生本人が了承した場合、同性のお子様との同室も可）。
- ・インターネット環境（wi-fi）が整っていること。
- ・留学生の宗教、ジェンダーに理解があること

※英語等の語学力は必要ありません。

【食事】

ステイ中の食事のご用意をお願いいたします。

アレルギーや宗教上の制限などがある場合には事前にご相談させていただきます。

4. 体調不良時

留学生本人の発熱や風邪症状による体調不良やその他怪我などの場合には、大学までご連絡ください（緊急時は救急の手配をお願いいたします）。

5. 申込み方法

長期ホームステイ同様、別紙『ホストファミリー登録申込書』に必要事項をご記入の上、下記まで郵送、FAX、Eメール添付にてお送りください。登録の申込みは随時お受けしております。

6. 受入れ留学生のマッチング

登録されますと、留学生の来日2～3ヶ月ほど前に大学から案内を差し上げ、受入れのご都合・ご希望をお聞きします。登録申込み用紙に記載されている事項と留学生の個人資料を照らし合わせ、共通点（喫煙などの生活習慣、家族構成、趣味など）や両者の希望（学生の性別、ペットの有無等々）を考慮して大学がマッチングをします。そのため、受け入れていただく留学生の決定は大学側に一任されることをご理解ねがいます。

受入れ可能とお申し出いただいたにもかかわらず、ショートホームステイに申し込んだ留学生の人数等の理由でマッチングとならない場合があります。どうぞご了承ください。次の学期にまたご案内をさせていただきます。

7. 事前説明

お申込みをいただいたら、本学国際教育課留学生担当職員がご家庭へ訪問し、詳細の説明をさせていただきます。また、留学生に実際にご提供くださるお部屋を拝見させていただくことをご了承ください。

申込み・問い合わせ先

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

北星学園大学 国際教育センター（担当：国際教育課）

Tel (011) 895-1000、Fax (011) 891-9550

HP : <http://www.hokusei.ac.jp/> Email : intlcenter@hokusei.ac.jp